

一橋大学大学院言語社会研究科研究プロジェクト
「中国現代文学研究ネットワークの構築(第Ⅱ期)」主催
Hitotsubashi Invited Fellow Program による招聘事業

周立民氏

(上海巴金故居常務副館長、巴金研究会副会長)

講演会

中国現代作家博物館建設和運営現状

—以巴金故居为例—

(中国近代作家博物館の創建と運営の現状—巴金旧宅記念館を例に)

2014年3月1日(土)

14:00~17:00

一橋大学東キャンパス国際研究館5階ML会議室



周立民氏は1973年遼寧省大連の出身。復旦大学中国文学専攻博士。現在、上海市作家協会所属の研究者で、2007年からは上海巴金故居常務副館長(実質的な館長)、巴金研究会副会長を務めています。中国近代の文豪・巴金の研究を牽引し、多くの業績を発表すると共に、中国近現代文学についての評論、研究も精力的に行い、著書が多数あります。

今日の中国における博物館事業の現況、実際に記念館を立ち上げるまでの経緯や、現在の運営状況などについて、現場からの興味深いお話を伺う講演会です。必要に応じて通訳も行いますので、中国文学や巴金に興味をお持ちの方のみならず、ミュージアム・アドミニストレーションに関心のある院生の方にもぜひ御参加ください。

問い合わせ 坂井洋史(一橋大学言語社会研究科) SAKAI.banjing@r.hit-u.ac.jp